

## レポートをご請求いただいた皆様へ

この度は「即アップミラクル」のレポートをご請求いただきありがとうございました。

この学習法は25年間学習塾の現場で築き上げてきた、正真正銘本物の学習法です。見せかけのシステムや、うそ、まやかしは一切ありません。

このレポートを読んでいただければそれがはっきりとご理解いただけると思います。

この学習方法を開発し子供達の変わり様は目を見張るものがありました。子供達が生き生きと、自ら進んで学習に取り組むようになるのです。そして、こちらの想像を超えた学習量をこなし、奇跡的な合格実績を出すようになりました。

そして、その保護者が「慶応ミラクル」と名付けてくれたのでした。そこから「即アップミラクル」と命名した次第です。

現在、日本に学習塾は5万社あると言われていています。その中で本当に100%子供達の成績を顕著に上げているところはどのくらいあるのでしょうか。おそらくどの塾も大変なご苦勞をされているのではないかと思います。

なぜなら、自分で言うのもおこがましいですが、この学習法を開発した私自身が大変困難な過程を経てきたからなのです。成績が上がらないと生徒が塾を辞めてゆきます。そうすると生活が成り立ちません。そのせっぱ詰まった状況の中から編み出したものなのです。

塾経営で私のように苦勞をされている塾長先生が数多くいらっしゃるのではないかと思います、世に出す決心をしました。

先ずは、このレポートをお読み下さい。

よろしく願いいたします。

「即アップミラクル」開発者  
(株) 富永教育経営研究所  
慶応スクール塾長  
富永賢宏

## 「即アップミラクル」レポート

「即アップミラクル」を開発した富永賢宏（とみながけんこう）です。

このレポートは、  
全部で6巻30ページからなっています。

中学生のお子さまを持つ保護者向けに書いた6つの手紙を  
塾を経営される皆様のために書き直したものです。

そのため、一部表現が適切でないところがあるかもしれません。  
もし、おかしいところがありましたら、どうぞお許し下さい。

さて、私はこの学習法を開発し、そして実際に子供達に取り組ませ、  
試行錯誤を繰り返しながら子供達を指導してきました。

そして、その過程の中で  
子供達が生き生きと自ら進んで学習するようになるには  
ある「過程」を踏ませることが大変効果的であるということに気づきました。

また、100%全員の成績を  
短期間に、顕著に上げるためには  
どうしても欠かせない3つの原則にも気づきました。

今回は、それをお話ししたいと思います。

しかし、これからお話しすることは  
長年塾業をやってこられた皆さんにとっては  
当たり前のことばかりかもしれません。  
当然ご存じのこととも含まれるかと思えます。

分かり切ったことを  
さも自分だけが分かっているかのようにお話しすることになりますが、  
その点は何とぞご了承下さい。

お許しいただきたいと思います。

.....

成績アップの方程式

.....

私はこの学習法を開発する過程で  
ある1つの方程式にたどり着きました。

100人が100人の成績を上げるための方程式です。  
この方程式を満たさないと100%は達成出来ないのです。

あまりにも当たり前すぎて  
バカにしているのかと思われる方もいらっしゃるかも知れません。  
しかし、我慢してしばらく読み進めてください。

学力アップに欠かせないもの

それは先ず第一に「やる気」です。

子供にやる気がないと成績は上がりません。  
やる気を持って、前向きに、積極的に取り組もうという姿勢がないと  
成績は上がらないのです。

無理矢理させても成績は上がりません。

やる気がないと潜在意識が覚えることを拒否してしまうのです。  
ですから、いくらやっても点数に出ないのです。

「あたりまえじゃないか！」と怒らないでください。

「そのやる気を出すことが出来ないから困ってるんじゃないか！」  
という声が聞こえてきそうですが、  
やる気を出させる方法はちゃんとあります。  
それは次回以降でお話しします。

次に「学習の質」です。

学習の質とは

一つは「学習のやり方」です。

成績アップに必要な知識や技術がきちんと身に付く、  
きちんと覚えることが出来る学習のやり方です。

つまり正しい学習プロセスをたどることなのです。  
勉強が良くできる子供が行っている学習プロセスと  
同じプロセスをたどらせることが重要です。  
(これも当たり前です。申し訳ありません。)

「学習の質」にはもう一つ重要な要素があります。

それは、先ほど申し上げた

「成績アップに必要な知識や技術」のことです。

つまり、「何を」覚えたらいいかということなのです。

この「何を」の部分は何と言うかという、

私はこれが「基礎・基本」であると思います。

そうなんです、この「何を」＝「基礎・基本」が重要なのです。

では、その基礎基本とは一体何だと思いですか？

これが、実は明確ではないのです。

でも、先生方は基礎基本がよく分かっていると思います。

しかし、問題は子供達がそれをわかっているか…ということなんです。

つまり、これだけを確実に覚えたらいいという

「これだけ」が子供達にとっては明確ではないのです。

教科書でも、参考書でも、  
市販の問題集でもそうです。

どの部分が重要なのが、  
量が多いためにあいまいになってしまっているのです。

量が多い上にあいまいなのです。  
だから、子供達は何を覚えたらいいのか全く分からないのです。

子供達は「何を」覚えたらいいのかが分からないだけでなく、  
「どのように」やればいいのかも分かっていません。

成績が上がるわけがないのです。

これを具体的にはっきりさせないといけないのです。

では、どのように具体的にはっきりさせればいいのでしょうか？

これも次章以降でお話ししたいと思います。  
ですから、楽しみに待っていてください。

最後に3つ目の重要なポイントです。  
それは、「学習の量」です。

成績とは相対的なものです。  
「成績を上げる」とは、  
「自分のライバルよりも点数で上位に位置する」ということです。

マラソンでいうなら、自分より前を走っている走者を  
追い抜かなければならないということです。

これはどういうことを意味するかというと、  
前を走っている走者よりも速く走らなければならないということです。

より速く走るとはどういう事でしょうか？

それは、自分よりも成績上位の生徒より  
たくさんの学習量をこなさなければならないということなのです。

より多くの学習量が必要ということです。

ここまで、私のお話を読んできて、  
あまりにも当たり前すぎて腹を立てていらっしゃるのではないのでしょうか。  
「そんなこと言われなくても分かっている。早く核心を言え！」と…

この成績を上げる方程式のまとめに入ります。

学力とは

「やる気」×「学習の質」×「学習の量」なのです。

すべてかけ算です。

ですから、この3つの要素がどれ一つ欠けても  
完全ではないのです。

もし、やる気が「0」ならば  
いくら学習の質が高く、量をたくさんやったとしても  
答えは「0」です。

また、  
いくらやる気があっても、  
量をたくさんやっても、  
学習の質が悪ければ（「0」）ならば  
結果は「0」です。

同じように

やる気を持ち、高い学習の質でも、  
量が足りなければ結果は出ないのです。  
すべての要素が「1」であれば

$1 \times 1 \times 1 = 1$  となります。

しかし、  
すべての要素が「2」であれば、

$2 \times 2 \times 2 = 8$  となり

その結果は8倍もの開きが出てくるのです。

これがミラクルを起こすのです。

時々ずば抜けて成績を上げる子供が出てくるのは  
この法則がうまく当てはまった場合なのです。

もし、この方法があなたの塾生全員に当てはまったら  
一体どのような結果が出ると思いますか？

.....

知っているか知らないかの差

.....

世の中の成功者といわれる人たちと  
凡人との違いは何だとお考えですか？

勘のいい皆さんならもうおわかりの事と思います。

そうです、それはただ  
その方法を「知っている」か「知らない」か、

そして、「行動した」か「行動しなかった」かの違いなんです。

このレポートを読まれたみなさんはとてもラッキーな方です。

なぜなら、もうすぐ

誰でも成績を上げることが出来る方法

その確信を知ることができるからです。

どんどん読み進めてください。

## おかしな話

先生方は「ベストの勉強法」とはどんなものだとお考えでしょうか。

その前にちょっと考えていただきたいことがあります。

ベストの勉強法ってそもそもこの世に存在するのでしょうか？

もし、仮に存在したとして、  
それはなぜ一般に知られていないのでしょうか？

ベストの勉強法がこの世に存在するのであれば、  
とっくの昔に知れ渡っているはずだとは思いませんか？

これだけ科学技術が進歩し、  
おまけに情報が氾濫している世の中です。  
本当にあるのであれば学校の先生なり、  
塾の先生なりが知っていて当たり前ではないでしょうか。

それなのに、なぜこんなにたくさんの子供やその親が  
成績が上がらないと悩んでいるのでしょうか？

おかしな話ですよ。

それとも、  
その勉強法は誰もが出来ないような勉強法なのでしょうか。

もし、そうであればそれは万人にとってベストの勉強法とは  
言えないということになります。

ひょっとして、  
門外不出の奥義としてどこかで継承されているのかもしれませんがね。

でも、私の知る限り、



25年間塾業界で生きてきて、  
そのような話は聞いたこともありません。

そうなんです。  
万人に共通するベスト（最良）の勉強法なんて  
今までどこにも存在しなかったのです。

ある生徒にはベストでも、  
別の生徒にはベストではないのです。

だから、それぞれが自分にあったベストな勉強法を  
自分で確立する以外に方法はないのです。

これが、学力の差になって表れてきているのです。

それでは、このレポートを読んでも意味がないのでは？  
とお考えのことと思います。

ご安心下さい。  
この一連のレポートを最後まで読み終えた頃には  
万人に共通する最強の学習法が実はあったということ、  
そして、それがあなたの塾生にも  
十分可能で、その上結果が出るということがご理解いただけると思います。  
気長に読み進めてください。

.....

やる気を出させる方法

.....

短期間でみるみる成績が上がる最強の学習方法は存在します。

その理由は私が実証したからです。  
（偉そうですね。）

12年前にこの学習法を発想し、  
5年前に確立しました。

そして、5年間の検証を経て、  
誰でも、目に見えて、短期間に、  
それも顕著に成績を上げることができる確証を掴みました。

しかし、それは前回申し上げた  
学力アップの方程式を満たしていないとダメなんです。

そうです、  
学力＝やる気×学習の質×学習の量

この3つの要素のどれかが欠けていては  
達成できないことなのです。

つまり、どんなに素晴らしい勉強法でも、  
本人の「やる気」がないと結果は出ないということなのです。

では、まず最初の「やる気」について考えてみたいと思います。

「やる気を持って…」と簡単にいいますが、  
「やる気」とは心の底からわき起こってくるものです。

「やる気を出せ！」といっても、  
わき起こってこないものはどうしようもありません。

それほどやる気を出させるということは難しいことなのです。

「やる気さえあれば何でも出来る…」といいますが、  
やる気がないから問題なのであって、  
やる気がない子供に「やる気があれば…」といっても  
ナンセンスなことなのです。

では、どのようにすれば  
やる気はわき起こってくるのでしょうか？

それは、「短期間で目に見えて結果に出す」ことによって  
やる気が起こるのです。

短時間で力がついたと実感させることによってやる気は起こるのです。

これは、実証論としてお聞き下さい。

今まで実際に検証してきて、  
そのような結果を出したことによって、  
誰もがやる気を出して勉強に取り組むようになったのです。

そしてそれは9割以上の確率で  
どのような生徒にも有効なのです。

短期間に目に見えて結果に出す。  
これがやる気をアップさせる極意なのです。

では、短期間に目に見えて結果に出す。  
目に見えて点数アップにつなげるような方法とは  
一体どんな方法なのでしょう？

## 全身鳥肌です！

前章で、「短期間で目に見えて結果に出すとやる気が出る」というお話しをしました。

この短期間というのはどのくらいの期間だと思いますか？

1週間…？

それとも1ヶ月？

それとも1年でしょうか？

1年はちょっと長すぎます。  
結果が出ないのに1年も勉強を続ける子供はいません。

実は答えは2つあります。

それは、最も長くて1ヶ月。

これ以上長い時間がかかると生徒は努力を止めてしまいます。

そして、最も短くて1時間です。

1時間の学習で力がついていると実感させることが、  
次の学習の意欲につながるのです。

以前の私の塾は、

どこにでもあるような普通の塾でした。

今でこそ地域NO. 1で名の通った塾ですが、

ほんの12年ほど前までは決して、地域NO. 1の塾ではありませんでした。

ですから、私の塾に来る生徒はトップ層の生徒は極わずか、  
中間層から下位層までが圧倒的に多い塾でした。

もちろん中間層から下位層の生徒は、やる気も今ひとつでした。

宿題を出してもちゃんとやってくる生徒は3割以下。

殆どの生徒がまともに勉強してくれないのです。

そういう生徒達を引き上げてトップ層まで持っていかないと  
合格実績が出ないのです。

合格実績が出ないと塾の存続自体が危なくなってしまうのです。

そこで行き着いた結論が短期間で結果に出すという方法でした。

それは、普通にやったら3時間かかるところを

その3分の1の1時間で結果に出す方法を作ればいいと考えたのです。

1日に3時間という学習をすること自体が困難な生徒ばかりだったからなんです。

そこで取り組んだのが成績アップに必要な情報を絞るという作業でした。

3分の1に減らせば

3分の1の時間で他の生徒と同じ効果が出るのではないかと考えたのです。

そして、その作業に取りかかりました。

まず、生徒がテストで間違っているところをすべて調べました。

そして、次に入試で問われる項目を全国の入試問題集で片っ端からチェックしていきました。

そこで気づいたことがありました。

入試問題の8割は基礎基本を確実に押さえておけば出来るということ。

また、生徒の間違いの8割は

その基礎基本ができていない事による、ということでした。

ということは基礎基本を確実に出来るようにさせれば成績は顕著に上がるのではないかとということです。

そして、それを反復させて身につける教材があればいいのではないかと考えたのです。

ところが、残念ながら市販の教材にはこのような教材は全く見あたりませんでした。

結局、自分で作るしかないという結論に達したのでした。

また、市販の教材では

正しい学習プロセスをたどらせることができなかったことも自分で作ろうと決心した大きな要因です。

正しい学習プロセスとは…？

そうです、最初の章でお話した学力アップの方程式です。

「学習の質」の問題です。

正しい学習方法を取らないと  
知識はちゃんと身に付かないのです。

努力の空回りになるのです。  
闇雲に量をやっても結果は出ないのです。

どんな生徒でも、  
ページを上からなぞっていけば  
正しい学習プロセスをたどらせることが出来る…

そのような教材が必要だったのです。

なぜ教材かというと、正しい学習プロセスを  
口でやり方を言って聞かせても  
子供達は決してやってはくれなかったからなんです。

100人が100人に同じ正しい学習プロセスをたどらせるためには  
正しい学習プロセスを形にする教材がどうしても必要だったのです。

そこで、その教材を作る作業に入った訳なんです。

およそ1ヶ月。  
毎日12時間以上パソコンとにらめっこ。

ありとあらゆる教材を買い込み、  
教科書と照らし合わせながら  
一問一問作って行きました。

そして、完成したのが「合格への道」という教材でした。

次は検証です。  
これで本当に成績が上がるのか…？

実際に生徒にさせて結果が出なければ意味はありません。

結果が出なければ

私の立てた仮説は机上の空論でしかないのです。

冬休み、冬期講習の2週間で子供達に取り組みせました。  
授業時間外に自学させたのです。

時期も良くみんな熱心に取り組んでくれました。

同じプリントを9割以上できるようになるまで何回もさせました。  
ノートまとめのような面倒くさいことは子供はしてくれません。

ただプリントをひっくり返して（同じ面が裏にも印刷してある）  
できるまでやり直しをすればいいだけです。

やり方も単純。

だから誰でも出来る。

おまけに何度も繰り返すから知識はきちんと定着するはず…。

そして、冬期講習が終わって実力模試。

2週間後に結果が返ってきました。

恐る恐る結果を見て…びっくりです。

何と全員の点数が驚くほど上がっているではありませんか。

何かの間違いか…？

いや、きっと問題が易しかったのだらうと思い、

12月の実力模試の結果と比較してみました。

平均点は前回と全く変わっていない…

ということは、やっぱり驚くべき結果が出ているということ…

全員の成績を、短期間に、顕著に上げることが出来た！

全身に鳥肌が立ちました。

嬉しくて涙が出る思いでした。

これで来年から楽になれる…。

こうやって最初の教材ができあがったのです。  
今から12年前の話です。

ところが、この教材と学習方法には  
思いもよらぬ難題が待ち受けていたのです。

完璧だと思っていた私に  
奈落の底に突き落とされるような事態が起こったのです。  
それは…

## 大きな間違い

前章で、全身に鳥肌が立つほど成績がアップした  
お話をしましたね。

そうです「合格への道」という教材を作り、  
短期間で成績を顕著に上げることに成功したのです。  
それも、全員…。

これは今までにはあり得ない経験でした。

こんなに短期間に、顕著に、それも全員の  
成績がアップするなんて  
今まで、この業界で  
誰もやったことがなかったことなんですから…。

この「合格への道」という教材は  
中学3年分がたったの1冊（120ページ）  
にまとめられている問題集です。

覚えなければならない項目がはっきり分かりように  
一問一答形式の問題が中心になっています。

例えば歴史の室町時代だと  
たったの2ページ半で終わります。



その2ページ半の部分の30個の項目さえ覚えてしまえばいいのです。

たったこれだけでテストで80点は取れるのです。

でも、実はその後思いも寄らない事態が発生したのです。

翌年の1学期の期末テストでした。

期末テスト対策で子供達に課題を出します。

当然合格への道もしっかり覚えるように言っておきました。

歴史は江戸時代がテスト範囲です。

合格への道で約6ページ。

いくら情報を絞ったとはいえ

80項目ぐらいの言葉は覚えなければなりません。

これは基礎基本ですから

まずしっかりこの部分を覚えないといけないのです。

ところがこれすらやろうとしない生徒がいたのです。

6割ぐらいの生徒はやってくれたのですが、

残り4割の生徒が取り組めていませんでした。

勉強しなくてはならない教科は

他にもたくさんあります。

社会だけやればいいのかというものではありません。

勉強も合格への道だけやればいいのかというものではありません。

他にもやらなければならない問題集はたくさんあるのです。

私はどんな生徒でも

100人が100人出来る学習法を目指していました。

だから、6割では不完全なのです。

そして、テスト後に出来なかった理由を生徒に聞いてみました。

すると、

「忘れてた…」という答えが圧倒的に多かったのです。

そうなんです、  
子供達はテスト前は8教科も、9教科も勉強しなくてはならないのです。  
その教科ごとに2～3冊のテキストがあります。  
それをテスト前1～2週間でやっしまわなければならないのです。  
中学生にとっては大変なことなんです。

「よし、もっと単純にしよう！」

そう考えました。  
テキストをめくって行って  
テスト範囲を探して  
そして、問題に取り組む。

そして、又別の教材を開いて、  
テスト範囲を探して…、と

この作業が面倒さを増幅させていると考えたわけです。

「江戸時代ならこれ1冊やればいい。」  
というようなものを作ったらどうか…

その中に  
基礎基本も、  
反復させる要素も、  
正しい学習プロセスも、  
そして確認の演習問題も入れてしまえばいい。

テスト前に「これ1冊やんなさい」と  
たった1冊の問題集を渡すことができれば  
子供達は問題集をとっかえひっかえやる面倒さがなくなる。

もっと取り組む確率が上がるのでは…？  
と考えたわけです。

そして、また問題集づくりを始めました。

単元別なので1冊20ページ程度しかない。

1冊終わらせるのに2時間もあれば十分。

この形にしたことが生徒の取り組みを100%に上げた大きな要因でした。

まさに誰でもやれる。

「何を」、「どのように」、「どれくらい」

やればいいのかをはっきりと明示させた

究極の教材「サクセスロード」が出来あがったのでした。

発想から12年、

どんな生徒でも取り組める。

そして、短期間に結果を出す。

究極の教材と学習法が誕生したのでした。

それから5年間

生徒達に実際にさせてデータをすべて取ってきました。

間違いなく上がる。

誰でも出来る。

そして、すぐに結果に出る。

1時間もやれば力がついていると実感できる。

だからまたやろうという意欲がわく。

教材化することによって

学習の質を極限にまで高めた結果なのです。

いよいよ佳境に入ってきました。

まだまだ続きます。

次のレポートでは英語をたった1ヶ月で

偏差値を10アップさせる方法をお話しします。

机上の空論ではありません。

入試に必要な情報を高い精度で絞り、  
正しい学習プロセスをたどれば  
誰でも短期間に、顕著に成績を上げることが出来るのです。

私が子供達にやらせて、実際に結果が出ている方法です。

## とっておきの話

今回で5回目です。  
毎回読んでいただいて本当にありがとう。

あなたには特別に本当の情報をお伝えしています。  
私が25年間という長い歳月をかけて完成させた  
とっておきの情報です。

今回のレポートでは  
1ヶ月で偏差値を10アップさせる方法をお話しします。

机上の空論ではありません。

入試に必要な情報を高い精度で絞り、  
正しい学習プロセスをたどれば  
誰でも短期間に、顕著に成績を上げることが出来るのです。

私が子供達にやらせて、  
実際に結果が出ている方法です。

英語の偏差値を1ヶ月で10アップさせる。  
それも実力テストで…

もし、本当にそんな方法があったら知りたいと思いませんか？

英語という教科は、実は一番点数に出しにくい教科なんです。

この学習法は正に25年間の集大成と言っても過言ではありません。

裏技なんです。

それでは本題に入ってゆきたいと思います。  
プロの皆様こんな事を聞くのは失礼と思いますが、  
英語の基礎基本は何だと思いですか？

文法？  
それとも単語？

そうです。文法も単語も重要です。

でも、最も速く点数に出すために必要な基礎基本とは…

実は「重要構文」なのです。

覚えなければならない重要構文は1学年に約200ほどあります。  
これを徹底的に暗記することが  
最も速く点数に出す方法なのです。

重要構文は日本語を見ただけで  
ピンと頭に浮かぶぐらいに暗記しなければなりません。

これが出来ると、穴埋め、書き換え、並べ替え…  
すべての文法問題が解けるようになります。

文法をやっても文法問題は解けないのです。

では、一体どのようにして暗記したらいいのでしょうか。

それは、3回反復すればいいのです。

200の重要構文を1回、一通りやるのに  
約7時間ぐらいかかります。

「7時間もー？」何て言わないでくださいね。

1年分なんですから。

1年分をたったの7時間でやれるわけですから、

究極まで情報を絞ってあるのです。

これぐらいは勘弁してください。

でも、2回目は5時間ぐらいで出来ます。

3回目は3時間で出来るようになります。

ここまで来るとすらすら書けるようになります。

どうです？

簡単でしょう？

「え？何が重要構文か分からない…」

そうおっしゃると思いました。

大丈夫です「サクセスロード」があるのです。

前回お話しした究極の教材です。

これを3回やればいいだけのことなんです。

素晴らしいー、自分のやったことにほれぼれしてしまう…

失礼しました。

こんなところでナルシズムに浸っている場合ではありませんね。

ところでここで

不思議に思われませんか？

「たったのこれだけで本当に英語が出来るようになるの？」

って思いませんでしたか？

そうです、さすが長年この仕事に携わっているプロの皆さんです。

勘が鋭いですね。

そうなんです。重要構文だけでは点数は取れないのです。  
なぜなら、単語が分からなければ  
いくら重要構文を覚えていたとしても  
英文は書けないのです。

そこで、ここに大きな問題が立ちはだかるのです。  
単語…

簡単に単語といっても、  
中学3年間で出てくる単語の数は  
1200もあります。

これは、いくら中学生で比較的簡単な単語が多いとはいえ  
子供達にはちょっと気が遠くなる量です。

特に英語が苦手な生徒は  
この単語の数を聞いただけで  
英語をあきらめてしまうほどの膨大な量なんです。

この単語を覚えなければ英語が出来ないというのは  
よくご存じのことと思います。

であれば、  
先生はどうしますか？  
いや、どうしていましたか？

毎日毎日  
こつこつと単語を覚えるという作業をさせてきましたか？

これが普通の中学生に出来るでしょうか？

答えは明白です。

絶対に無理です。続きません。

では、お手上げじゃないですか。

これが、今までの英語学習の限界だったのです。  
ところが、入試に出る単語が  
短時間に簡単に身につけられる方法があるとしたら、  
先生は知りたいですか？

知りたいに決まっていますよね！

わかりました、お教えしましょう。

短時間で単語力が身に付き  
長文読解がすらすら読めるようになる方法。

これが次のテーマです。

楽しみに待っていてください。

追伸：  
ところで、このレポートの中で出てきた  
サクセスロードという教材。

「一体どんな教材なの？」  
と思われた方もいらっしゃると思います。  
私が25年間を費やして作った  
究極の教材です。

お知りになりたい方は  
今度の即アップセミナーに持っていきますので  
よろしければ是非セミナーにご参加くださいね

## 長文が読める！

毎回読んでいただいて本当にありがとうございます。

今日の課題は英単語。



これには本当に苦勞しました。

英語が出来ない生徒に共通していることがあります。  
それは覚えている単語の量が極端に少ないのです。  
だから長文読解ほど嫌な勉強はないのです。

そうです。  
英語が苦手な生徒にとって  
長文読解は最も嫌な分野なのです。

なぜなら、いくらやっても読めないのです。  
ちんぷんかんぷんなのです。

そして、最もエネルギーを消耗してしまうのです。  
やればやるほど、やる気がなくなる  
恐怖の分野なのです。

でも、大丈夫です。  
最強学習法に不可能はありません。

ここで、ちょっと学生の頃を思い出してください。

受験勉強、頑張りましたよね！

どうやって単語を覚えていたか思い出せますか？

単語集で毎日こつこつと覚えていた方もいらっしゃると思います。  
でも、それって結構退屈で、  
毎日続けるにはエネルギーがいりましたよね。

英単語を覚える一番いい方法はというと  
それは、長文読解の中で覚えてゆくという方法です。

長文を訳しながら、  
出てきた分からない単語や  
新しい単語を覚えてゆく。

これが一番効率的な学習なんです。

効率的な学習をしないと公立には合格しません。

なんて、だじゃれをいっている場合じゃないですね。  
失礼しました。

話を元に戻しましょう。

単語は長文読解の中で覚えてゆく。  
これが一番なんです。

英語が出来ない生徒は単語力がない。

そこで苦節25年。  
半端に過ごしてきたわけではありません。

ならば、  
あらかじめ長文読解の中に出てくる単語を覚えてしまって、  
その後に長文を読めば  
ちゃんと日本語に訳せるのではないか…。

そういう発想で作ったのが  
「長文読解サクセスロード」です。

これは長文に出てくる単語を  
あらかじめ何回も書いて覚えるという作業から入ります。  
そして、その後に長文を全訳するのです。  
すると、どうしたことでしょう。  
全く長文が読めなかった生徒が、  
すらすらと英文を日本語に訳してゆく事が出来るではありませんか。

おまけに問題が解ける。  
答えが合っている。

今まで、手も足も出なかった長文読解が

たった30分で解けるようになった。

ここで生徒は思います。

「私に長文が分かる！」

ここで、子供の脳からドーパミンが  
ドーっと出てくるのです。

これが子供のモチベーションをアップさせるのです。

この感覚は長文が全く出来なかった子供にとって  
実は画期的なことなんです。

あらかじめ単語を覚えてしまえば  
誰でも長文は訳せるのです。

そうやって、20ページほどの問題集をやってしまうと、  
不思議なことが起こります。

今まであれほど嫌がって取り組むことさえ避けてきた子供が  
自ら進んで長文読解に取り組むようになるのです。

それは、「長文はそれほど難しくない」という実感を  
子供が持つようになるからなのです。

ここで重要なことはやはりプロセスです。  
正しい学習プロセスをたどらせるということ。

単語は何回も書いて覚えるという作業なくして  
暗記することは不可能なのです。

しかしそれはとても退屈な作業なのです。  
でも、長文が訳せるという“ご褒美”  
達成感といってもいいと思います、  
これがあることによって  
その退屈な作業が苦にならなくなるのです。

ここで子供の頭の中で価値観の転換（パラダイムシフト）が起きているのです。

そして、長文読解サクセスロードを3冊やり終えたなら。

子供達は長文読解に必要な最低限度の単語力が養成されるのです。

もう一つ効用があります。

単語力が付くことによって

英作文や、そのほかの文法問題も解けるようになるのです。

これで基礎力は完成です。

生徒の偏差値は10アップしています。

重要構文を覚え、

長文読解もやり終えた子供は

英語に対する壁が全くなくなっていることに気づきます。

あなたの塾でもその明らかな子供の変化に気づかれると思います。

子供の顔つきが変わっているのです。

楽しそうに英語の勉強に取り組む姿がそこにあるのです。

これに要する期間はざっと1ヶ月。

ちょっとがんばれば2週間でもやる事が出来る量です。

中学3年になって、全く英語が出来なかった子供が

たったの2週間で偏差値が10アップするのです。

そして、英語を勉強することが苦にならなくなるのです。

この学習法は

実際に子供達にさせて

そして、結果に出た方法です。

今でも私の塾で子供達がやり続けている方法です。

机上の空論ではありません。

色々お話ししてきましたが  
この学習法は  
情報を絞り、  
正しい学習プロセスをたどらせることにより、  
だれでも短期間に、顕著に結果を出すことが出来る  
究極の学習法であり、教材なのです。

これ以上の詳しいお話はここでは出来ません。

もっと、詳しいことがお知りになりたければ

是非、即アップセミナーに参加してください。

きっとあなたの塾での学習指導に関する悩みは  
すべて解消できると思います。

損はさせません。

ここまでおつき合い下さって本当にありがとうございました。

この方法は私が実際に現場でやってきて  
結果に出たものばかりです。  
すべての子供に共通して結果が出ます。

実際にこの学習法を導入されている塾でも、  
正真正銘大変顕著に結果が出ています。

経費もかかりません。

結果がすぐ出る上に、  
売上げも増加するという  
嘘のようなホントの話です。

あなたの塾でも  
必ず出来ます。  
私には断言できます。

この最強学習法であなたの塾に通う子供達の人生にミラクルを起こしてください。

セミナーでお会いしましょう！

では、お元気で！

富永賢宏

追伸：  
感想のメールをお待ちしています。  
私も皆さんの感想がとても知りたいです。  
楽しみに待っていますので、  
下記まで是非送ってください。

**E-mail: [saikyou@soku-up.com](mailto:saikyou@soku-up.com)**

一番私が感動した感想をいただいた方には  
すてきなプレゼントを差し上げます。  
中身は、お楽しみということで。  
では、よろしく！

ありがとうございました。